

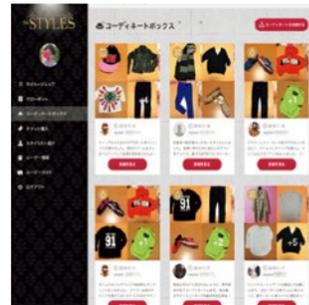


幼少期から続ける少林寺拳法に、トリアスロンと水泳の部活、プログラミングや数学の家庭教師と忙しい日々。「仕事は寝るまでの間にします。個人のSNSの時間がムダと気付いたので、アカウントごと消しました」

起業家甲子園で2位 15歳で会社設立へ

関西学院千里国際中等部(箕面市)3年生の鳥枝樹里亜(じゅりあ)さんが昨年3月、「第6回起業家甲子園」で準優勝にあたる審査員特別賞を受賞した。中学生の出場は初めてで、更に高校や大学、大学院生など11チームのなかから初受賞となった。その3カ月後にはわずか15歳で会社を設立し、事業化も実現させた。

※起業家甲子園…総務省が主催する学生のためのビジネスコンテストで、ICT分野における有望な若手ベンチャービジネスの創出を目指す。地区予選で優秀な成績を収めて出場権を獲得したチームが参加し、ICTを用いた独自のプランを発表する。



「The STYLES」コーディネートボックスの画面。ユーザーは、所有する服や雑貨を撮影してウェブ内の「バーチャルクローゼット」に登録。手持ちのアイテムを管理でき、着る服に迷ったら1チケット(1,000円)で専門家にコーディネートを依頼できる。

『アイデアに価値はない』 受賞に甘んじず事業化へ

鳥 枝さんのビジネスプランは、中高年男性をターゲットに、インターネットで服装のコーディネートを提供するというもの。中学2年生のときにKGBビジネスプランコンテスト(関西学院中高大、提携校などの学生が参加できる)に出場し、中学生部門で優勝、起業家甲子園への出場権を獲得し、準優勝となった。同じ頃、Googleの創業者ラリー・ペイジの『アイデアに価値はない』という言葉に出会い感銘を受け、「動かなければ意味がない」と起業を決意。印鑑登録ができる15歳になるや、自

身の名にちなんで株式会社「Juliat(ジュリアット)」を昨年設立、ウェブサービス「The STYLES」の提供も開始した。

発案は小学生の時

起 業に興味を持ったのは、小学4年生の頃に税理士事務所でのインターンシップを経験したことがきっかけ。事業計画書に「おもしろそう」と関心を抱いたそう。そして、小学5年生の時に今回のビジネスモデルを思いついた。父親が授業参観に来るといので服装を尋ねると、とてもお洒落とは言えないものだった。違う服装を提案したが聞く耳を持ってもらえず、

「身内だから聞いてくれないんだ、第三者が提案すれば受け入れてくれるかも」とプロによるコーディネートサービスを構想した。

現在通う学校には国際経験のある生徒が多く、海外ボランティアへの参加や、ボランティア団体の立ち上げなど、社会に参画する生徒が多いことも、起業への刺激になった。「学校のなかで“起業”は特別なことじゃなかった」と話す。

一本気な想いと行動力で 世界へと突き進む

どんな小学生だったのか。鳥枝さんの母親は「小学校で生徒会長をしたり、友達のもめごと

を仲裁したり。先生に“引っ張っていくタイプ”と言われたことも」と回顧する。また、やると決めたことには一直線でもある。事業化を決めた際には、自ら服飾専門学校を探して単身で乗り込み、コーディネーターの協力を依頼したという。

現在、ユーザーは1月時点で220名ほどだ。単身男性やTPOに合わせた服装が分からない人のほか、奥さんが旦那さんのために登録するケースもあるという。今後2年で1000名を目指し、アパレルメーカーとの連携や海外進出も視野に入れる。「起業は夢のひとつ。将来は国際公認会計士としてグローバルな活躍ができる人になりたい」と熱い思いを語った。

茨木市ブランドロゴ 市民の投票を募る

茨 木市は、ブランドイメージ向上などを目的とし、茨木市らしさを伝える“メッセージ”が表現されたロゴを作成、市民の思いを反映させるため市民投票を行う。候補は3つあり、市民の意見などをもとに茨木高校出身のブランディングディレクター小塚泰彦氏が作成した。投票期間は2月1日～19日まで。一人一回、市外在住者も可能、詳細は市HPから。

【案1】

- ・IBARAKIの「I」を並べ、「個(i)」の連携を表現
- ・「いばらきし」の5文字を5本線で表現

【案2】

次なる茨木へ。

- ・「茨」の中に「次」があり、過去・現在・未来をつなぐ意味が込められている
- ・ロゴの傾斜線は地軸を表し、多様に変化していく様子を表現

【案3】

- ・高齢化に伴う「加齢する」ではなく「華麗する」ためのまちづくりを展開
- ・ロゴは市の花、バラがモチーフ

JR新駅の駅名案 一般公募

JR京都線の摂津富田駅と茨木駅間に新駅が2018年3月頃開業する。これに合わせて茨木市では、新駅を身近に感じ、親しみや愛着を深めてもらいたいと、JR西日本に提案する新駅の駅名案を募集している。この提案などを参考にJR西日本が最終決定し、2017年内に新駅名を発表する予定だ。なお、集計結果は3月頃に茨木



新駅の外観イメージ図

市のホームページで公表する。

対象：小学生以上 1人複数案の応募が可能
締め切り：2月28日消印有効
応募方法：ハガキ、ファックス、市のホームページから。
詳細は茨木市ホームページまで。

資生堂が彩都に新工場 2020年度に稼働予定

株 式会社資生堂の大阪工場が茨木市の彩都東部地区に移転することが決定した。現在の大阪市東淀川区にある大阪工場はスキンケア商品などを主に製造しており、新工場ではその1.5倍の生産能力を有するという。さらに、同敷地内に国内外向けの物流機能と商品の保管、出荷機能を併せ持つ物流センターを新設する。これまで生産、保管、



新拠点イメージ図

出荷の機能別になっていた物流フローを統合し、ロボットを活用した最新の物流技術を導入。工場と物流センターで約400億円の投資を見込んでいる。2018年度に着工、2020年度稼働の予定。スキンケア商品のマザー工場として生産能力を増強し、国内外向けの供給拡大を進めていく方針だ。

摂津市「100円橋」 無料化は先送り

淀 川にかかり、摂津市と寝屋川市を結ぶ「鳥飼仁和寺大橋」、通称「100円橋」は、2月末に無料化される予定だったが、10年延長される。1987年2月に供用が始まり、通行料は普通車100円、大型車160円、特大車370円、自転車10円。大阪府道路公社は当初、全体の通行量を1日2万台以上と予想し、事業費約100億円は30年で返済で

きと見込んだ。しかし、実際には概ね1万台の通行量しかなく、返済は40億円弱に留まった。今後、消費税増税に伴い、通行料が変更される可能性がある。歩行者は無料で通行可能。



今、あなたのスマホが危ない ～サイバー犯罪の被害に遭わないために～

協力:大阪府警察

インターネットは、今、犯罪者にとって、新たな犯罪を生み出す手段の一つとなっている。ファッションの流行と同じように、サイバー犯罪の手口にも流行があり、一つの手口が流行してその対策が取られた後には、また新たな手口が流行し、そのサイクルは年々早くなってきているそう。現在、生活必需品とまで言われるスマホ等は、大変便利なツールだが、サイバー空間の中では、犯罪者があらゆる手段を使って、それらの情報を盗んで悪用しようとしているため、個々でセキュリティ対策を継続して行っていく必要がある。まずは、誰でもすぐに行える対策から実施を。

- 【最近のサイバー犯罪の被害事例】同じパスワードを使い回していると、パスワード等が流出した場合、色々な犯罪に悪用される可能性がある。
- ・インターネットバンキングでは、口座から不正に現金を引き出される
 - ・SNSサイトでは、不正なログインを行って、他人になりすまして誹謗中傷をする
 - ・ネットショッピングでは、知らないうちにネット上で商品を購入される等の被害が発生している。すでにあなたのパスワードが流出している可能性も

【誰でもできるセキュリティ対策の基本】

- パスワードは、必ず予測されにくい複雑なものを設定する!
 - パスワードの使い回しは、絶対にしない!
 - パスワードは、定期的に変更する!
- OS等のバージョンアップや、ウイルス対策ソフトの更新も忘れずに。



◀サイバー相談はこちら

※2/1～3/18はサイバーセキュリティ月間。キャンペーンも予定している。詳細は大阪府警ホームページに掲載予定。